

環境経営レポート

第 11 版（活動期間:2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日）



目次

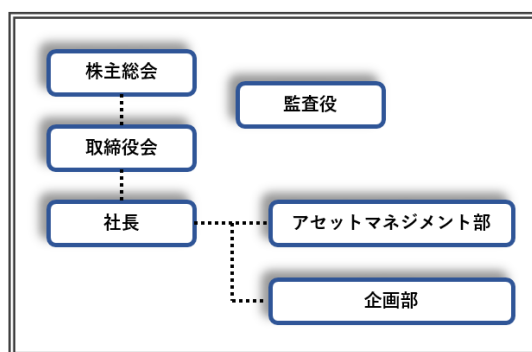


1. 会社概要	1
2. 対象範囲	2
3. 環境マネジメントシステム実施体制	2
4. 環境経営方針	3
5. 物質の流れ	4
6. 環境経営計画とその達成状況	4
7. 環境関連法規等遵守状況の確認・評価及び違反、訴訟の有無	13
8. 教育・訓練の実施	13
9. 苦情・要望及び事故発生の対応	13
10. 代表者による全体の評価と見直しの結果	14

1. 会社概要

会社概要	
商号	株式会社 NTT 東日本プロパティーズ (英文名称:NTT EAST PROPERTIES, INC.)
本社所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門三丁目 8 番 8 号 NTT虎ノ門ビル 2 階
代表取締役社長	矢野 信二
創業	2008 年 7 月 1 日
事業概要	不動産の有効利活用の推進及び利活用にかかるビルの運営
資本金	50 億円
従業員数	約 20 名 (2021 年 3 月 31 日現在)
床面積	496m ²
売上高	15,332 百万円 (2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日)

◆ 組織図



2. 対象範囲

対象範囲	
認証・登録番号	0008113
認証・登録日	2012年3月22日
更新・登録日	2020年3月22日
認証・登録範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・NTT 東日本プロパティーズ全組織及び全従業員 ・NTT 東日本プロパティーズにおける事業活動及びサービス
レポートの対象期間	2020年4月1日～2021年3月31日
発行日	2021年9月28日

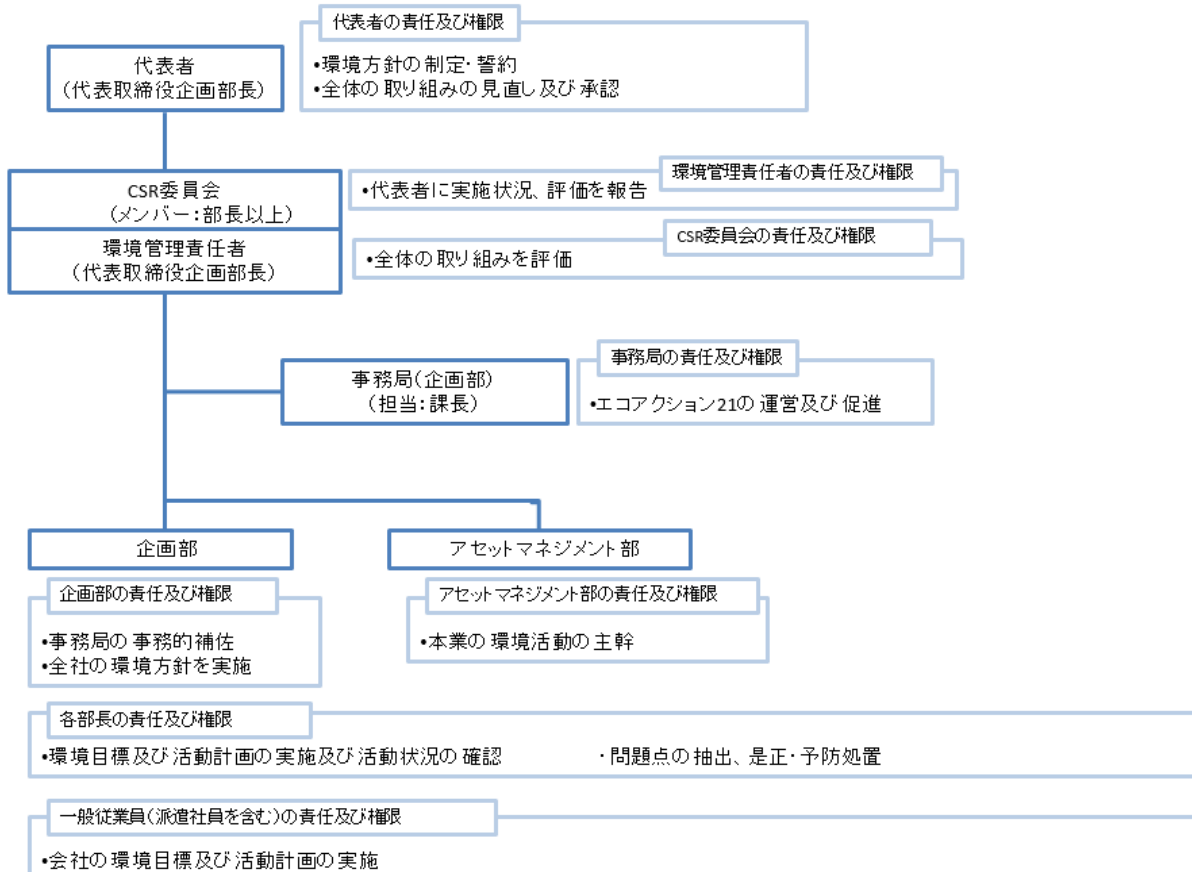
◆ 環境マネジメントシステム対象範囲



3. 環境マネジメントシステム実施体制

代表取締役企画部長を代表者に据え、NTT東日本プロパティーズ本社に常時在籍するメンバーが、環境マネジメントシステムを実施します。NTT東日本プロパティーズの代表取締役社長は、非常勤のため対象範囲に含めておりません。また、CSR委員会には、常勤監査役も参加しています。

◆ 環境マネジメントシステム実施体制



環境経営方針

NTT東日本プロパティーズは、NTT東日本グループの一員として、「NTT東日本グループ地球環境憲章」に則り、地球環境保全に向け全社で取り組みます。事業活動における不動産賃貸業の特徴を活かしつつ、地域とのコミュニケーションを推進し環境負荷低減を図ります。またオフィス活動においても、環境負荷の低減に努め、循環型・持続可能な社会の発展に貢献します。

行動指針

①環境負荷の低減

事業活動における環境目標を定め、環境保全活動に努めます。

- ・事業活動においてLED化・緑化を推進することで低炭素化社会に貢献します。また、リサイクル資材等の活用を推進することで、資源の有効活用により循環型社会に貢献します。
- ・オフィス活動において電気の使用量削減に取り組みます。
- ・廃棄物の発生抑制及び節水意識を醸成します。
- ・事務用品のグリーン購入を推進します。

②環境マネジメントシステムの維持

自主的な環境保全活動の取り組みを継続改善するとともに、環境関連の法規制を遵守します。

③環境教育・啓発活動の実施

環境教育及び地域のクリーン活動を通して、環境保全に関する知識と意識を高めます。

④環境経営方針の開示

環境経営方針を公開し、社内外とのコミュニケーションを図ります。

2019年9月3日

株式会社NTT東日本プロパティーズ

代表取締役企画部長

大関 栄行

5. 物質の流れ

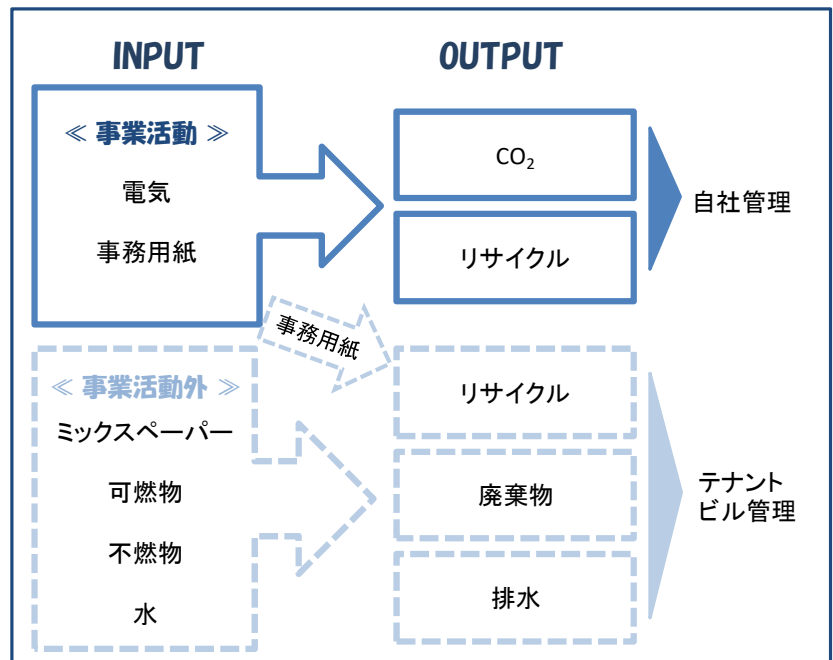
◆ 物質の流れ

NTT東日本プロパティーズは、テナントとしてオフィスビルに入居しています。

自社で数値の把握ができるINPUT物質は、電気と事務用紙です。

OUTPUT物質の内、廃棄量を自社管理できるものは、CO₂ 排出量と機密文書として廃棄する事務用紙のリサイクル量です。

自社で数量の把握ができない廃棄物は、テナントビル等が計測及び処理を行っています。



6. 環境経営計画とその達成状況

(1) 中期環境経営目標

2017年版エコアクション21ガイドライン(環境目標の事業との融合)への移行および社内環境の変化(組織整備による人員減)に伴い、環境経営方針(課題とチャンス)及び中期目標を新たに定めることとし、「NTT 東日本グループ環境目標 2030」等を意識しつつ、目標達成に向け引き続き各種取り組みを実施していくこととします。

・NTT 東日本グループ環境目標2030

低炭素化している未来	私たちは、社会のCO ₂ 削減貢献量を自社排出量の10倍以上にします。 私たちは、気候変動への“適応”に幅広く取り組みます。
資源が循環している未来	私たちは、廃棄物の最終処分率1%以下を継続します。
自然と共生している未来	私たちは、生態系保全活動に積極的に取り組みます。

◆ NTT 東日本プロパティーズの中期環境経営目標

項目 (環境経営方針)	目標			主幹 組織
	2020 年度	2021 年度	2022 年度	
NTT 東日本と連動	低炭素化対策 (CO ₂ 削減) (気候変動)	・ビル開発時にリサイクル資材(再生コンクリート等)の再利用 ・竣工する物件への緑化・LED化	← 継続実施 → ・屋上の空きスペースを有効活用した緑化及び断熱による省エネ効果の推進(菜園) ※2021年度より実施	全部門
	資源循環 (廃棄物対策)	・分別活動 ・グリーン購入 ・年末カレンダーの利活用 (同ビル内他社への寄付)	← 継続実施 →	全部門
	自然と共生 (生態系 保全活動)	・地域のクリーン活動に参加 (毎月1回)	← 継続実施 →	全部門

◆ NTT 東日本プロパティーズの環境経営計画

項目 (環境経営方針)	施策(環境経営計画)			主幹 組織
	2020 年度	2021 年度	2022 年度	
低炭素化対策	・ビル開発にリサイクル資材(再生コンクリート等)採用等 ・今後、竣工する物件には、緑化およびLEDを設置			アセット マネジメ ント部
	・昼休み時間帯の消灯 ・屋上の空きスペースを有効活用した緑化及び断熱による省エネ効果の推進(菜園) ※2021年度より実施			全部門
廃棄物対策	・可燃、不燃、瓶・缶、ペットボトル、再生紙(ミックスペーパー)に分別			全部門
生態系保全活動	・地域のクリーン活動に参加			全部門
紙資源対策 (モニタリング)	・ペーパーレス打合せの徹底 ・電子決裁等システムの活用 ・業務見直しによる出力抑制(経理伝票等出力、各種監査対応時の資料提出) ・両面・複数ページ印刷、裏紙利用印刷の推進 ・年末カレンダーの利活用(同ビル内他社への寄付)			全部門

(2) 2020 年度目標及び実績

活動期間:2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日

◆ 環境経営目標及び実績

環境経営方針	2020 年 4 月 - 2021 年 3 月		主幹組織
	目標	実績	
温暖化対策 (モニタリング)	今後開発・竣工する運営物件についてはグリーン施策 ^{※1} のいずれかを導入	竣工したビルにグリーン施策のいずれかを導入	アセットマネジメント部
	CO2 削減目標については、2019 年度にクリアしたこと及び働き方の変更による在宅勤務等の環境変化により、電力使用量についてはモニタリング項目とする。モニタリングの基準値は、2019 年度数値とする。	電気使用量 : 28,778kWh	全部門
紙資源対策 (モニタリング)	3,700 枚/人・年 (308 枚/人・月) これまでの取り組みから紙使用量を分析し、3700 枚を下限值とした	1,321 枚/人・年 (110 枚/人・月) 従業員一人当たりの使用枚数を基準値(2009 年度 8267 枚/人・年)から 84%削減	全部門
廃棄物対策	分別活動の促進・継続	分別活動を実施	全部門
グリーン購入	事務用品のグリーン購入比率 76%以上	購入比率 : 77%	全部門

※1 グリーン施策とは、LED 照明、太陽光発電システム、緑化(壁面、屋上、外構等)です。

◆ 環境経営計画の取り組み結果とその評価、今後の取り組み

◇ 温暖化対策

1) 事業活動におけるグリーン施策

【 グリーン施策 】

- 緑化(壁面、屋上、外構)の整備
- エントランス、オフィス内等においてLED照明を導入
- 太陽光パネルの設置

グリーン施策等の効果

施策目的	導入施策	効果
温暖化対策 (CO ₂ 排出削減)	壁面緑化 [※] 屋上緑化 [※] 外構緑化 [※]	日射を抑制することで、ヒートアイランド現象の抑制効果、植物による外壁の日射を抑制し、空調負荷の低減による CO ₂ の削減効果
	LED 照明 [※]	階段、トイレ、エントランスホール等に LED 照明を設置し、節電により CO ₂ の削減効果
	太陽光発電パネル	建物屋上に太陽光パネルを設置し、CO ₂ の排出を抑制
	ソーラー型街路灯	太陽光パネルを利用した外灯を設置することで、自然エネルギー使用による CO ₂ の削減効果

※ 導入目標を掲げているグリーン施策

■ CO₂排出量の抑制

所有するオフィスビルに設置した太陽光パネルによる、CO₂排出量の把握をしています。発電実測からCO₂量を求めています。

- ※1 太陽光パネルの発電によるCO₂削減量のため、LED照明・緑化によるCO₂削減量は含まれておりません。
- ※2 CO₂排出量への変換係数は、年度別の電力事業者別排出係数を使用しています。

【電力供給者】

株式会社エネット
東京電力株式会社
東北電力株式会社



= グリーン施策

◆ LED(室内)

BLESS 目黒祐天寺



◆ LED(外構)

BLESS 目黒祐天寺



◆ 外構緑化

BLESS 昭島



◆ 外構緑化

BLESS 目黒祐天寺



2) オフィス活動

【 オフィス活動 】

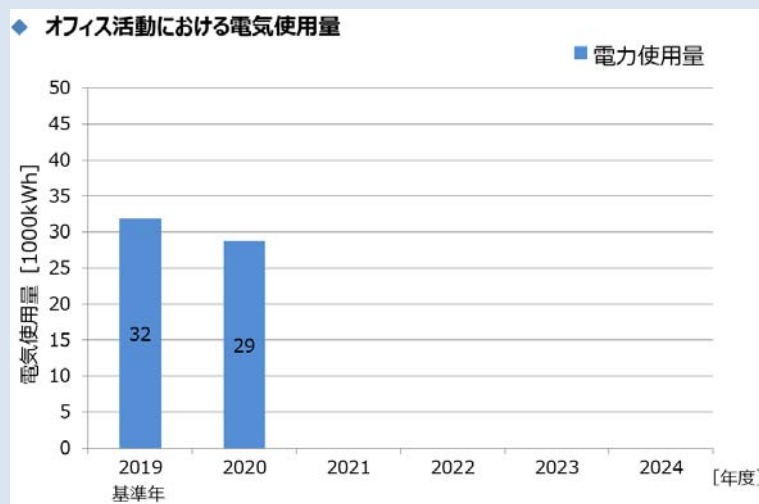
- パソコンの省電力設定
- LED照明の利用
- 昼休み時間帯の消灯
- 決裁システムによる紙削減
- 会議、打合せ等をプロジェクターで実施

オフィス活動の効果

施策目的	導入施策	効果
温暖化対策 (CO ₂ 排出削減)	パソコンの省電力	消費電力の削減
	LED照明の利用	
	昼休み時間帯の消灯	
ペーパーレス化の 推進	決裁システムによる紙削減	用紙使用量の削減
	会議、打合せ等をプロジェクター及び WEB 会議(リモート)で実施	

■ 電気使用量(モニタリング)

CO2 削減目標については、2019 年度にクリアしたこと及び働き方の変更による在宅勤務等の環境変化により、電力使用量についてはモニタリング項目とする。
モニタリングの基準値は、2019 年度数値(32,000kWh/年)とする。



＝ オフィス活動の取り組み ＝

◆ 事務所入口 LED 照明



◆ 打ち合わせ室 LED 照明



◆ 打ち合わせ室 LED 照明



◆ 昼休み時間帯の消灯



【 評価 】

＜事業活動におけるグリーン施策＞

活動期間中に 9 物件を竣工し、グリーン施策(LED照明、太陽光パネル、緑化)のいずれかを導入し、目標を達成しました。

グリーン施策を施すことでCO₂排出量の削減やヒートアイランド対策に貢献しており、引き続き、建物の環境性能向上に努めていきます。

＜オフィス活動＞

年間一人あたりのCO₂排出量は、2019年29.7%で目標達成(基準値488kg-CO₂/人・年から25%削減)は達成していること及び2020年については、部署の削減による人員減・在宅勤務中心の勤務形態への以降等から一人当たりのCO₂削減量は、計測せず、電力使用量のみをモニタリング項目として、2019年を基準に各種施策を継続取り組みしていくこととします。

◇ 紙資源対策(モニタリング)

【 取り組み 】

- ・電子決裁等システムの活用 ・RPA 等を活用した DX 化
- ・業務見直しによる出力抑制(経理伝票等出力、各種監査対応時の資料提出)
- ・両面、複数ページ印刷の推進 ・裏紙利用印刷の推進 ・WEB 会議等の推進
- ・一人当たりコピー枚数の年度目標を掲示 ・事務用紙使用量の推移を掲示

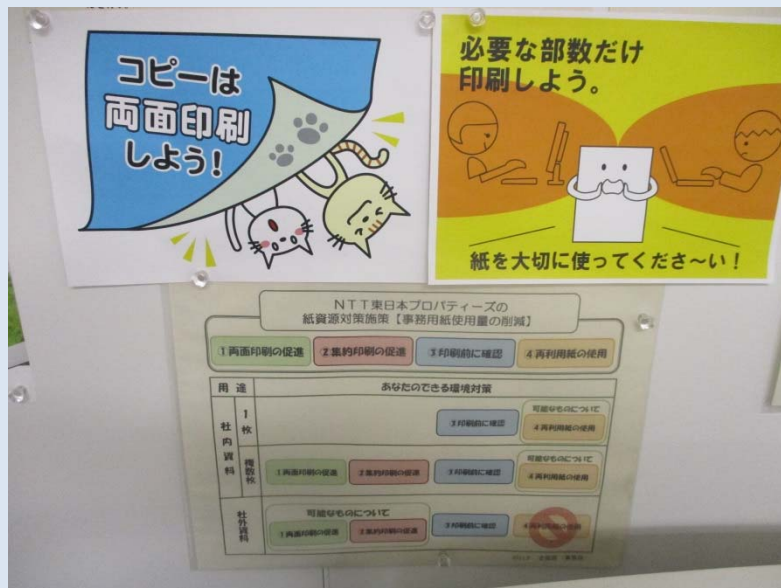
■ 事務用紙使用量

2018 年度より業務別に年間紙使用量を積算し、3,700 枚/人・年とした。

2020 年度についても在宅勤務による WEB 会議等で紙使用量の低減が図れ、▲2,379 枚/人・年となった。



= 紙資源対策(モニタリング)に関する掲示物 =



【 評価 】

目標値は 3,700 枚/人以下で、事務用紙累積使用量は、従業員一人当たり 1,321 枚となり、目標を達成しました。今後も、全従業員に対する定期的な意識啓発を行い、紙使用量が増加しないようモニタリングしていきます。

◇ 廃棄物対策

【 取り組み 】

- ・ すべての分別容器に、種別を表示
- ・ 紙の分別方法の掲示
- ・ 新テナントビルにおけるごみ分別方法の教育
- ・ 「もえるゴミ」「もえないゴミ」の分別方法を掲示
- ・ 可燃、不燃、瓶、缶、ペットボトル、再生紙等に分別

= 廃棄物対策の取り組み =

◆ 分別ごみ箱



◆ 紙の分別表示

紙の具体的な分別

紙回収BOX 分類表

ミックスペーパー	コピー用紙の包装紙 ポスター チラシ カレンダー 封筒 はがき 紙リサイクルマークの付いているもの メモ用紙(付箋紙は期が付いているのも えるゴミ) タバコの空き箱(ビニール、アルミ紙はも えるゴミ)等
新聞紙	新聞紙のみ
雑誌	雑誌、社内誌、パンフレット等
段ボールはゴミ箱近くにまとめておく(結束不要)	

： 注意点



【 評価 】

ごみの種類別に容器を準備し、どこに何を捨てればよいか分かり易く表示することで、ごみ分別処理の徹底を図っており、分別行動は定着しています。

また、自社でリサイクル量の把握をしているものは、機密文書として廃棄する事務用紙です。これは、100%溶解リサイクルしています。

引き続き取り組みを継続し、ごみの削減と資源化に努めていきます。

◇ 総排水量対策

【 取り組み 】

節水効果の高い衛生器具(節水型大小便器・水洗)の導入による節水

【 評価 】

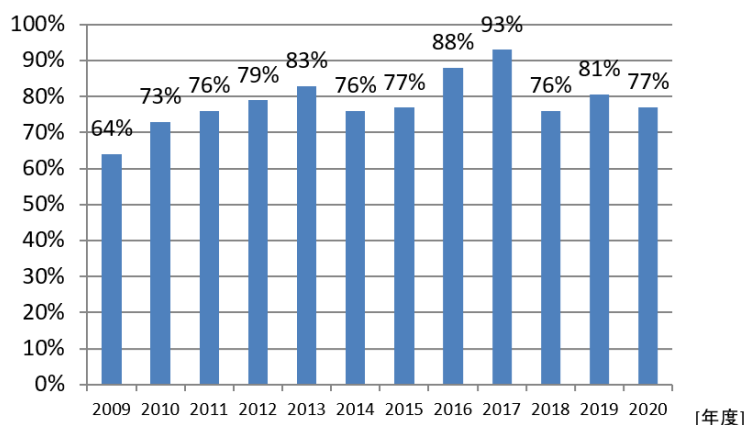
活動期間中竣工したビルへは、節水型水洗機器を設置しました。
総排水量の計測はテナント入居のためできませんが、引き続き、事業を通じた節水活動を推進します。

◇ グリーン購入

【取り組み】

- ・ 指定のグループ会社を利用
- ・ 外部業者からの事務用品購入時、エコマーク等環境ラベル認定品を出来るだけ選択

◆ グリーン購入比率



グリーン購入比率は、対象を文具とし、品種別は発注量をもとに計算している

【 評価 】

外部へ購入依頼をする際、エコマーク等環境配慮商品を選択するようにしています。
今年度のグリーン購入比率は77%ととなり、目標を達成(76%)しました。引き続き、取り組みを継続し、購入比率の向上に努めます。

7. 環境関連法規等遵守状況の確認・評価の結果及び違反、訴訟の有無

事業活動における環境関連法規への遵守状況は以下の通りでした。

訴訟については、創業以来ありません。

◆ 環境関連法規等の遵守評価

環境法規等名称	遵守事項・判定基準	評価
環境基本法	CO ₂ 排出削減に努めたか。	○
省エネ法	特定事業者として届出等をしているか。	○
グリーン購入法	NTT 東日本の方針に沿って購入しているか。	○
廃棄物処理法	テナントビルの方針に沿って分別しているか。	○
	政令で定める産業廃棄物の収集、運搬及び処分に関する基準に準拠しているか。	—
建設リサイクル法	解体工事が必要な場合、都道府県知事に届出を提出したか。	○
家電リサイクル法	廃棄時にリサイクル業者に渡したか。	—
小型家電リサイクル法	廃棄時にリサイクル業者に渡したか。	—
消防法	避難経路は確保されているか。	○
東京都環境確保条例	地球温暖化対策に関するビルオーナーからの要請に答えているか。	○
土壤汚染対策法	土壤汚染の状況を把握するため、汚染の可能性のある土地について調査を行って形質変更届出書の提出、土壤汚染調査の結果報告を行っているか	—
東京都地球温暖化対策指針	地球温暖化対策に関する NTT 東日本からの要請に答えているか	○
東京における自然の保護と回復に関する条例	緑化完了書を提出しているか	○
世田谷区事業用建築物の廃棄物保管場所等の設置に関する要綱	廃棄物保管場所・再利用対象物保管場所・集積所等計画書を提出しているか。	○
フロン排出抑制法	簡易点検報の記録を作成し、保存しているか。	—

※評価「—」は期間中、対象が無かったため

8. 教育・訓練の実施

■ 環境意識醸成のための教育

NTT 東日本グループ会社として、NTT 東日本グループの環境負荷低減に向けた環境活動(e ラーニングによる学習、eco 検定受験推奨、地域清掃活動等)に積極的に参加することで環境意識醸成のための教育としています。

■ 緊急事態の対応訓練

テナント入居しており、独自で燃料等の保管をしていませんので、緊急事態は火災、地震のみを想定していません。そこで、緊急事態の対応訓練として、テナントビルの防災訓練(12月に実施)へ参加しました。

また、全従業員を対象とした安否確認訓練1回(10月)実施しました。

9. 苦情・要望及び事故発生の対応

社内外の環境に関する苦情や要望等を受け付ける担当窓口を、事務局に設置しています。活動期間中に苦情、要望、事故の発生はありませんでした。

環境に関する苦情や要望の窓口	
担当窓口	事務局
連絡先	TEL: 03-6452-8590

10. 代表者による全体の評価と見直しの結果

環境経営方針/目標・環境経営活動計画/その他

- 環境経営計画を着実に取組んだ結果、2020年度の環境経営目標は全て達成しました。
また、エコアクション21認証・登録(中間)審査を2021年3月に受審した結果、「ガイドラインに適合」となり、新たなエコアクション21ガイドライン2017年版への移行・認証・登録を維持することができました。
これらは、全従業員の意識の維持・向上が継続して図られ、環境保全に関する取り組みが形骸化することなく行われていることによるものであり、当社の環境マネジメントシステムは、有効に機能しているものと考えます。
- NTT東日本プロパティーズは、NTT東日本グループの一員として、「NTT東日本グループ環境目標2030」に基づき、中期環境目標達成に向けて継続して取組んでいくとともに、ビル開発等におけるLED化、緑化、再生コンクリートの採用等を推進し、事業の特性を活かした取り組みも展開していくこととします。
- また、2021年度より虎ノ門ビルの屋上の空きスペースを有効活用した緑化及び断熱による省エネ効果の推進を実施しました。こちらの活動内容は来年度のレポートに記録することとします。

環境経営レポート

(活動期間 2020年4月1日～2021年3月31日)

発行	2021年9月28日 第11版
発行者	株式会社 NTT 東日本プロパティーズ 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-8-8 (NTT 虎ノ門ビル 2F)
URL	http://www.ntt-p.co.jp
作成者	事務局